

## 4年ぶりの学校訪問

(6/12)

多古中学校をはじめ、小学校3校及びこども園を訪問し、それぞれ学校運営や学習目標、地域課題の説明を受けました。こども園では子どもたちの元気な歓迎を受けながら、新たに増築した保育室を視察しました。小・中学校では全クラスに導入されている電子黒板やタブレットがどのように使われているかを確認しながら各クラスそれぞれの目標、課題、対策に向けて取り組む姿を拝見できました。

また、説明の中で各学校の課題や要望も伺いました。多古第一小学校では空調設備の各教室への分配、児童数増による教室、教育支援員の不足。中村小学校ではアレルギー体質児童への支援。久賀小学校では教育支援員の増員希望。中学校ではICT支援員の派遣増員の希望。今後、教育委員会とも、これらの対応について協議を進めていくことで委員会としての共通認識を図りました。

4年ぶりとなる今回の学校訪問は、各学校・こども園とも、園児や児童生徒の豊かな学びと健やかな成長を目指し、先生、職員の皆様が一丸となって教育・保育にご努力されている様子を伺うことができた、とても有意義なものでした。

(文教厚生常任委員会委員長 佐藤利治)



## 視察レポート(6/14)

### 世界最先端の物流施設を視察

全議員と町長及び関係課職員の総勢23名で、印西市グッドマンビジネスパークを視察しました。

世界規模の不動産デベロッパーであるグッドマンは、日本国内で15拠点、千葉県内では印西市、松戸市、市川市に事業展開しています。特に北総線千葉ニュータウン駅の近くに広がる53ha(道路を含まず)の印西市ビジネスパークは、敷地内に建設中の2棟を含む7棟が効率よく配置され、Google、アマゾンのデータセンター等々、世界最先端の物流施設パークです。

敷地内のアメニティゾーンには、保育園、カフェ、レストラン、ショップ等の商業施設が併設され、芝生広場では定期的にイベントが開催されています。また、社会福祉法人との連携により、建物内ギャラリーには障がいのある方の



アートが飾られるなど、地域住民に開かれた空間の創造を目指す会社理念が見てとれました。

多古町に事業展開が予定されている鷹ノ巣地域は70haであり、栗原副社長の説明では印西市と同程度の規模になるとの事です。本プロジェクトが実現した際には、多くの雇用が創出されるとともに、町の税収も大幅に増えることが見込まれます。

(副議長 石渡悦子)

6月定例会の傍聴者数は延べ90名でした

インターネットで録画中継も行っています



←多古町議会  
録画中継はこちらから

多古町

検索

→ 多古町ホームページ → 多古町議会 → 議会中継 → 録画中継

9月定例会は、9月5日(火)から開会予定です。